

5月 議員月間リレー日記

●青沼 弘

1日(火)～6日(日)

ゴールデンウィーク中

はこれまでの疲れを癒すための休養。

半年余りの議会活動を

振り返り、今後の予定を
思案。

7日(月)

今日は朝から仕事。

自宅にて書類整理。行
政書士業務を行う。



10日(木)

雨もようやく止んだ。

明日から上京のため今日

は1日農作業を行う。

11日(金)

姪の結婚式のため上

京。

12日(土)

姪の結婚式に出席。

13日(日)

夜行船に乗船。

14日(月)

帰島。午後から農作

業。

9日(水)

今日も朝から春の嵐。

●木村 諭史

15日(火)

工場にて1130度の
焼成試験を行う。商品購
入と委託試験の引き合い
があったので、メール対
応。試験の合間に議会だ
よりの原稿修正。

16日(水)

午前は装置のメンテナ
ンス、実験データ整理。
午後は役場・議会事務局
を訪問。議員視察の詰め
と議会だよりの原稿確認
を行う。

17日(木)

翌週上京時の他島若手
議員や議会関係者との勉
強会・懇親会の調整。午
後は抗火石で困ったガス
コンロでコーヒー焙煎。
1kg焙煎に選別から始め
て2時間。

18日(金)

昼過ぎに商工会での意
見交換会に参加。26日に

東京都商工会青年部連合
会の島しょブロック会議
の参加表明。リーダー役
を4年勤めたOBとして
意識共有の準備をする。

夜は地域活動の会議。

19日(土)

沿道にてトライアスロ
ン応援。夕方から教育関
係者とゲームを通じた交
流と各種相談。

20日(日)

近所の葬儀等に出席。

マルマン駐車場のフリー
マーケットにて時間を短
縮してコーヒー出店。天
気も良く、観光客にも
島民にもコーヒー片手に
心地よい交流の場になっ
た。

21日(月)

午前は臨時議会・全員
協議会に出席。午後は工
場にて焼成試験を実施。

22日(火)

飛行機で上京。島しょ
会館で若手議員と勉強
会。その後、他島の議会
事務局交えて懇親会(一
ターナー者を、住宅、仕事
環境、コミュニティ活
動、人間性・才能の尊重
を含めて受け入れる重要さ
を共有した)。

23日(水)

午後3時半から千代田
区・麴町のグリーンパレ



夜は大島支庁管内事業
説明会の質問状を作成。

26日(土)
 「島じまん」のオープニングを見て、新島ブーイングの手伝いをし、国会議員や都議会議員と名刺交

●前田 卓秀
 25日(金)
 午前中は下條村の施設を見学し、午後からは飯田市南信濃振興公社の温泉を利用したフグの養殖を視察。すべての日程を終え7時半過ぎに東京着、解散。

24日(木)
 村議会の視察研修。朝8時26分に島しょ会館前を貸切バスにて出発。長野県・喬木(たかぎ)村をめざす。
 * * *
 午後6時終了。夜の大型船で帰島。

27日(日)
 今日「島じまん」新島ブーイングの手伝いをし、他の島のブーイングを見学。



28日(月)～31日(木)
 新島の波情報をSNSに投稿。さらに防災新島や観光案内なども共有して投稿。
 午後から美容室の仕事。いつもの新島の生活にもどる。

27日(日)
 今日「島じまん」新島ブーイングの手伝いをし、他の島のブーイングを見学。



換及び意見交換。

アイ 議長の目ランド アイ

小笠原諸島返還50周年記念式典に参加して

世界自然遺産登録！環境に配慮した村内整備！若者の多い活気に満ちた島々！

(議長 前田 邦弘)



世界自然遺産登録とその保存

1968年に小笠原諸島がアメリカの統治下から日本に返還されて50年経ち、日本で一番若くて活気のある島々である。

2011年外来種対策や保護担保措置などの課題をクリアして世界自然遺産に登録された。この後も外来種の新たな島への侵入が確認され、その対策は継続的な課題となっている。島に下船の際には靴などの裏を消毒し、付着物の上陸防止を行い気を配っている。特に近くの南島に行くのにも靴の裏を塩水で洗うな

ど世界遺産の保持に力を注いでいる。返還直後は自然保護よりも復興事業を優先する風潮があったそうだが、現在は環境問題に対する島の人々の意識は確実に高まっているという。

活況を呈する観光業

現在、観光客は年間3万人に達する勢いで、ユネスコ自然遺産の登録と新しいおがさわら丸による快適な船旅が約束されたことが一因となって島全体が活気にあふれているように思えた。新島で言えば昭和50年代半ばのあの雰囲気似た感じをつけた。

行政的にも小笠原は小笠原諸島復興特別措置法により村内整備は伊豆諸島の島々とは違い、環境に配慮された区画整備が施され、メインストリー